

患者向け説明書：水痘（みずぼうそう）・带状疱疹予防接種 この説明書は、水痘ワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

水痘（みずぼうそう）とは

- **原因**：水痘・带状疱疹ウイルス（VZV）による感染症。
- **感染経路**：飛沫感染、接触感染、空気感染。非常に感染力が強い。
- **症状**：発熱、全身に水ぶくれ状の発疹、かゆみ。
- **合併症**：肺炎、脳炎、重症の皮膚感染。まれに死亡することもあります。

ワクチンの特徴

- **種類**：弱毒化生ワクチン。
- **接種回数（任意接種対象者）**：通常 **2 回接種** が推奨されます。
- **接種間隔**：4 週間（28 日）以上あけて 2 回目を接種します。带状疱疹予防では 1 回の接種となります。
- **効果**：発症予防効果は約 80～90%。発症しても軽症で済むことが多く、重症化予防に有効。

副反応について

- **よくある副反応**：注射部位の発赤、腫れ、痛み。
- **全身反応**：発熱、発疹（軽度の水痘様発疹が出ることがあります）。
- **まれな副反応**：強いアレルギー反応（アナフィラキシー）。

接種が推奨される方

- 定期接種対象年齢の乳幼児。
- 水痘にかかったことがない子どもや成人。
- 医療従事者や教育関係者など、多くの人と接触する職業の方。
- 免疫不全の方と同居している家族（本人が免疫不全の場合は接種できないことがあります）。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- **妊娠中または妊娠の可能性のある方は接種できません。接種後 2 か月は妊娠を避けてください。**
- 他のワクチンとの接種間隔については医師に確認してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 発疹や発熱が出ることがありますが、多くは軽症で自然に治まります。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

水痘は感染力が強く、乳幼児や免疫力の弱い方にとって重症化の危険がある感染症です。ワクチンは安全性が高く、2回接種することで十分な免疫を獲得できます。定期接種の時期に忘れずに受けることが大切です。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。